

# Fukui working situation

## 福井県の働き事情ゼミナール

仕事や暮らしに関する気になるデータを紹介。  
福井で就職するメリット、そしてリアルなワークライフバランス事情が見えてくる。



**2.04倍** 全国  
1位

有効求人倍率 (2022年8月)

求職者一人に対して何件の求人があるかを示す有効求人倍率。福井県は、就職や転職がしやすいとされる高水準をキープ。求人数の多さは元気な企業や活発な経済活動のバロメーターでもあり、ライフプランの安心材料となりそうだ。  
出典 / 厚生労働省 一般職業紹介状況(2022年8月分)



**74.9%** 全国  
3位

持ち家比率 (2018年)

経済的なゆとりを反映してか、福井県民の4世帯のうち3世帯が「持ち家」に暮らしている。さらに「一戸建て住宅比率」(76.7%、全国4位)、「持ち家住宅の延べ面積(1住宅当たり)」(164.7㎡、全国2位)、「居住室数(1住宅当たり)(持ち家)」(6.76室、全国2位)と、住まいに関する統計で他の都道府県を圧倒。  
出典 / 社会生活統計指標-都道府県の指標-2022



**27.4%**

新卒学生のUターン率 (2022年)

県外の大学や専門学校に進学した学生が卒業後、福井で就職する割合は2019年に過去最高の32.1%(830人)を記録。一度は県外で就職したものの、福井で再就職するUターンや、県外出身者が福井で仕事を見つけるUターンも年々増加傾向。幅広い年代の人が魅力を感じている。  
※福井県定住交流課調べ



5回連続  
**全国総合1位**

全47都道府県幸福度ランキング

幸福度ランキング全国1位の福井県は、若者に対する企業の手厚いサポートや雇用の安定など、「仕事」の分野が貢献。「インターンシップ実施率」や「正規雇用者比率」の高さ、「大卒者進路未定者率」の低さなどが全国水準を大きく上回っている。  
出典 / 全47都道府県幸福度ランキング2022年版(一般財団法人 日本総合研究所編)



**16社**

上場企業の数 (2022年)

社会的信用の高さが魅力的な「上場企業」。2017年には「ユニフォームネクスト」が東証「マザーズ」に上場。現在、福井県の上場企業は16社を数える。

株式会社熊谷組	建設業	東証1部
ユニフォームネクスト株式会社	小売業	東証マザーズ
三谷商事株式会社	卸売業	東証2部
サカイオーベックス株式会社	繊維業	東証1部
セーレン株式会社	繊維業	東証1部
株式会社田中化学研究所	化学	東証JASDAQ スタンダード
日華化学株式会社	化学	東証1部
三谷セキサン株式会社	ガラス・土石製品	東証1部
株式会社松屋アルアンドディ	機械	東証マザーズ
株式会社PLANT	小売業	東証2部
前田工織株式会社	その他製品	東証1部
フクビ化学工業株式会社	化学	東証2部
株式会社福井銀行	銀行	東証1部
Genky DrugStores株式会社	小売業	東証1部
KYCOMホールディングス株式会社	情報・通信	東証JASDAQ スタンダード
福井コンピュータホールディングス株式会社	情報・通信	東証1部

**36.1%** 全国  
1位

共働き世帯割合 (2015年)

子育て環境の充実などを背景に、共働き世帯の割合が全国1位の福井県。そのため「世帯収入」でも、大都市を押しよけて全国トップクラスの水準となっている。貯蓄額も高水準をキープ。住宅やマイカーの購入、子どもの教育資金の手厚さなど、さまざまな面で生活の豊かさにつながっているようだ。  
出典 / 社会生活統計指標-都道府県の指標-2022



**1.37%** 全国  
1位

社長輩出率

都道府県別の社長輩出率で、福井県は1.37%と全国トップ。国内生産の9割以上を担う眼鏡フレームの関連企業や、繊維関連企業など独立資本の企業が多い。最近では、中小企業やベンチャー企業を支援する動きも活発で、若手起業家の活躍や地域経済の活性化にも期待が高まる。

出典 / 「福井県企業の社長分析(2020年)」株式会社データバンク福井支店  
※出身都道府県別の社長数÷各都道府県人口×100



**53.0%** 全国  
1位

女性の労働力人口比率 (2015年)

男女ともに就業率が高く、全国的に見ても「働き者」が多い福井県。特に女性の就業率は全国1位と顕著で、キャリアウーマンとして活躍する女性が福井の経済を支えている。仕事に対して前向きな女性が多く、家庭や職場において女性が働きやすい雇用環境が整っているとも言えそう。

出典 / 社会生活統計指標-都道府県の指標-2022



**53分**

通勤・通学時間

※1日当たりの通勤・通学時間(10歳以上の「通勤・通学」をしている人、平日の平均)

毎日の暮らしやライフスタイルに直結する通勤時間。全国でもっとも長い神奈川県が1時間40分。対照的に全国で3番目に短い福井県では53分(全国44位)と、その差は1時間に迫る。関東や関西の都市圏は軒並み1時間超。その分、福井では趣味や家族との時間などプライベートが充実している。

出典 / 社会生活基本調査から分かる47都道府県ランキング(総務省統計局)

### TOPICS

#### 「SDGs未来都市」福井県!

2021年に内閣府の「SDGs未来都市」に選定されている福井県。「福井県SDGs未来都市計画」を策定し、未来を担う人材を育成や、次世代に選ばれる持続可能な地域社会の実現に向けて、具体的な取り組みやゴールを設定している。

企業における女性管理職の割合  
(福井県労働者就業環境基礎調査)

**15.4%**(2018年)→**20.0%**(2024年)

地域活性化に取り組む若者グループ数(福井県調べ)

**102グループ**(2018年)→**160グループ**(2024年)



※多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現に対するKPI ※福井県長期ビジョンから抜粋